

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。
※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 令和 5 年 12 月 11 日

記入者 西村昭生

1 排出事業者	名称	京都府流域下水道事務所		所属	施設管理課	
	所在地	〒617-0836 京都府長岡京市勝竜寺樋ノ口1番地		担当者	堀口郁夫	TEL 075-954-1879 FAX 075-955-2224
2 廃棄物の名称	木津川流域下水道 洛南浄化センター 下水汚泥(沈砂)					
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載) <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	主成分 水分:約10~20% 他 砂、可燃物				MSDSがある場合、CAS No.	
	・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。					
4 廃棄物の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他()					
	※ 廃棄物が以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 石綿含有産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀使用製品産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 水銀含有ばいじん等 <input type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 銻さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃水銀等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害)					
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input checked="" type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 () トリクロロエチレン () 1,3-ジクロロプロペン () 水銀又はその化合物 () テトラクロロエチレン () チウラム () カドミウム又はその化合物 () ジクロロメタン () シマジン () 鉛又はその化合物 () 四塩化炭素 () チオベンカルブ () 有機燐化合物 () 1,2-ジクロロエタン () ベンゼン () 六価クロム化合物 () 1,1-ジクロロエチレン () セレン () 砒素又はその化合物 () シス-1,2-ジクロロエチレン () ダイオキシン類 () シアン化合物 () 1,1,1-トリクロロエタン () 1,4-ジオキサン () PCB () 1,1,2-トリクロロエタン ()					
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当)・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当)・(非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。					
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	生成物質:ホルムアルデヒド(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE)					
	生成物質:クロロホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> アセトンジカルボン酸 <input type="checkbox"/> 1,3-ジハイドロキシルベンゼン(レゾルシノール) <input type="checkbox"/> 1,3,5-トリヒドロキシベンゼン <input type="checkbox"/> アセチルアセトン <input type="checkbox"/> 2-アミノアセトフェノン <input type="checkbox"/> 3-アミノアセトフェノン					
	生成物質:臭素酸(オゾン処理により生成)、ジブロモクロロメタン、プロモジクロロメタン、プロモホルム(塩素処理により生成) <input type="checkbox"/> 臭化物(臭化カリウム等)					
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (△) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (△) ニッケル (×) 銅 (△) アルミ (×) アンモニア (△) ホウ素 (△) その他 (—)					

9	有害特性 (有・ 無 ・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input type="checkbox"/> 引火性(°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10	廃棄物の物理的 性状・化学的性状	形状(泥状) 臭い(下水臭) 色(黒茶色) 比重() pH() 沸点() 融点() 発熱量() 粘度() 水分(20~40%)
11	品質安定性	経時変化(有・ 無) 有る場合は具体的に記入 腐敗
12	関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13	荷姿	<input type="checkbox"/> 容器() <input checked="" type="checkbox"/> 車両(バラ) <input type="checkbox"/> その他()
14	排出頻度 数量	頻度(スポット・ 継続予定) (20) kg・(t) ㎥・m ³ ・本・缶・袋・個 / (年)・月・週・日
15	特別注意事項 (有・ 無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性/注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (**均一サンプル有**) ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等 : 下水道終末処理場の水処理・汚泥処理施設から排出されたもの

流入水 → 沈砂池 → 最初沈殿池 → 生物反応槽 → 最終沈殿池 → 放流
 沈砂排出場所

<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

2023年7月7日

計量証明書

計量証明事業所 京都府第2004号

一般社団法人

京都微生物研究所

〒607-8326 京都市山科区川田御出町3-4

一般社団法人

京都微生物研究所

〒607-8326 京都市山科区川田御出町14-1

TEL (075) 593-3320

計量管理者：石井 依里子

アイテック(株)

様

当研究所に依頼された試料について行った計量の結果は下記のとおりであることを証明します。

受付年月日	2023年6月5日	受付方法	収集	
採取年月日	2023年6月5日	採取時刻	-	
天候	-	温度	気温 - 水温 -	
採取者	-	種別	-	
試料名称	洛南浄化センター 沈砂			
特記事項	検液の作成方法：昭和48年 環境庁告示13号			
計量の対象	単位	計量の結果	定量下限値	計量の方法
カドミウム又はその化合物	mg/L	<0.003	0.003	JIS K 0102 55.3
シアン化合物	mg/L	<0.1	0.1	JIS K 0102 38.1.2及び38.3
有機りん化合物	mg/L	<0.01	0.01	昭和49年環境庁告示第64号付表1
鉛又はその化合物	mg/L	<0.01	0.01	JIS K 0102 54.3
六価クロム化合物	mg/L	<0.04	0.04	JIS K 0102 65.2.1
砒素又はその化合物	mg/L	<0.01	0.01	JIS K 0102 61.2
セレン又はその化合物	mg/L	<0.001	0.001	JIS K 0102 67.2
全水銀	mg/L	<0.0005	0.0005	昭和46年環境庁告示第59号付表2
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	0.0005	昭和46年環境庁告示第59号付表3
PCB	mg/L	<0.0005	0.0005	昭和46年環境庁告示第59号付表4
トリクロロエチレン	mg/L	<0.008	0.008	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.002	0.002	JIS K 0125 5.2
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	0.002	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	0.0002	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	0.0004	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	0.002	JIS K 0125 5.2
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	0.004	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.03	0.03	JIS K 0125 5.2
備考				

*印は計量法第107条の計量対象外です。

定量下限値未満については、不等号をつけた定量下限値を表示します。

(様式K)

計量証明書

計量証明事業所 第2004号

一般社団法人

京都微生物研究所

〒607-8326 京都市山科区川田御出町3-4

一般社団法人

京都微生物研究所

〒607-8326 京都市山科区川田御出町14-1

TEL (075) 593-3320

計量管理者：石井 依里子



アイテック(株)

当研究所に依頼された試料について行った計量の結果は下記のとおりであることを証明します。

受付年月日	2023年6月5日	受付方法	収集		
採取年月日	2023年6月5日	採取時刻	—		
天候	—	温度	気温 — 水温 —		
採取者	—	種別	—		
特記事項	—				
試料名称	計量の対象	単位	計量の結果	定量下限値	計量の 方法
沈砂	全水銀(wet)	mg/kg	0.02	0.01	底質調査方法5.14.1
	全水銀(dry)	mg/kg	0.03	0.01	底質調査方法5.14.1
	含水率	wt%	17.5	—	肥料分析法(1992年版)3.1.1
し渣	全水銀(wet)	mg/kg	0.01	0.01	底質調査方法5.14.1
	全水銀(dry)	mg/kg	0.04	0.01	底質調査方法5.14.1
	含水率	wt%	73.9	—	肥料分析法(1992年版)3.1.1
脱水ケーキ	全水銀(wet)	mg/kg	0.04	0.01	底質調査方法5.14.1
	全水銀(dry)	mg/kg	0.24	0.01	底質調査方法5.14.1
	含水率	wt%	84.8	—	肥料分析法(1992年版)3.1.1
乾燥汚泥	全水銀(wet)	mg/kg	0.19	0.01	底質調査方法5.14.1
	全水銀(dry)	mg/kg	0.24	0.01	底質調査方法5.14.1
	含水率	wt%	22.3	—	肥料分析法(1992年版)3.1.1
以下余白					
備 考	全水銀(wet)は湿重量濃度を示す。 全水銀(dry)は乾燥重量濃度を示す。				